

みずほCustomer Desk Report 2022/04/21号 (As of 2022/04/20)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	129.44
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	129.33	1.0795	139.45	1.3016	0.7395
SYD-NY High	129.43	1.0867	139.69	1.3069	0.7457
SYD-NY Low	127.47	1.0785	138.45	1.2995	0.7373
NY 5:00 PM	127.89	1.0855	138.81	1.3069	0.7452

NY DOW	35,160.79	249.59	日本2年債	-0.0500	0.00bp
NASDAQ	13,453.07	▲ 166.59	日本10年債	0.2500	1.00bp
S&P	4,459.45	▲ 2.76	米国2年債	2.5733	▲ 2.34bp
日経平均	27,217.85	232.76	米国5年債	2.8598	▲ 5.76bp
TOPIX	1,915.15	19.45	米国10年債	2.8330	▲ 10.51bp
シカゴ日経先物	27,285.00	▲ 10.00	独10年債	0.8605	▲ 5.55bp
ロンドンFT	7,629.22	27.94	英10年債	1.9140	▲ 5.10bp
DAX	14,362.03	208.57	豪10年債	3.1070	5.60bp
ハンセン指数	20,944.67	▲ 83.09	USDJPY 1M Vol	10.85	▲ 0.44%
上海総合	3,151.05	▲ 42.98	USDJPY 3M Vol	10.10	▲ 0.21%
NY金	1,955.60	▲ 3.40	USDJPY 6M Vol	9.73	▲ 0.15%
WTI	102.19	0.14	USDJPY 1M 25RR	0.13	Yen Put Over
CRB指数	307.24	0.34	EURJPY 3M Vol	10.14	▲ 0.11%
ドルインデックス	100.39	▲ 0.57	EURJPY 6M Vol	10.04	▲ 0.11%

東京	東京時間のドル円は129.33レベルでオープン。日中に日銀の指値オペ通告を受けわずかに上昇するも驚きのない内容に徐々にドル売りにシフト。売りが加速すると128.07まで売られる展開。128円割れ手前で支えられると一転、買いに転じると128.70レベルまで戻し海外時間へ。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、128.70レベルでオープン。米金利の低下につれてドル円は下落。またECBの政策委員が7月の利上げもあり得ると発言したことでユーロが対ドルで買われたこともドル円を押し下げた。127.61まで売られ127.86レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は128円台後半でスタート。先日に続いて日米金融政策格差を意識したドル買い円売りが継続し、オセアニア時間には129円を突破。アジア時間には129.43まで上昇。日銀が指値オペを通告するも既に織り込み済みだったためか、その後は利益確定売りが先行し、128円台半ばまで反落。欧州時間では米長期金利の低下幅拡大を受けて、全面的なドル売りが進む中、早朝に127.61まで下押し、127.86でNYオープン。朝方は米長期金利が再び2.90%を試す動きを横目に128.28まで買い戻されるが、米金利が再び低下基調に転じるとドル円も127.47まで反落。10時には米中古住宅販売件数が発表されるも予想通りの結果に市場は反応薄。午後は127円台後半で小動き。新規材料に欠ける中、終盤も方向感乏しく、結局、127.89でクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.07円台後半でスタート。米金利の低下やユーロのショートカバーにサポートされ、欧州時間には一時1.0867まで上昇後、1.0827でNYオープン。朝方は再びユーロ買い優勢となり、1.0866まで上昇。しかし、ウクライナ情勢や仏大統領選を巡る不透明感が響く中、海外時間高値(1.0867)手前で伸び悩み、レンジ切り上げには至らず。午後は1.08台半ばで小動き。結局、1.0855でクローズ。

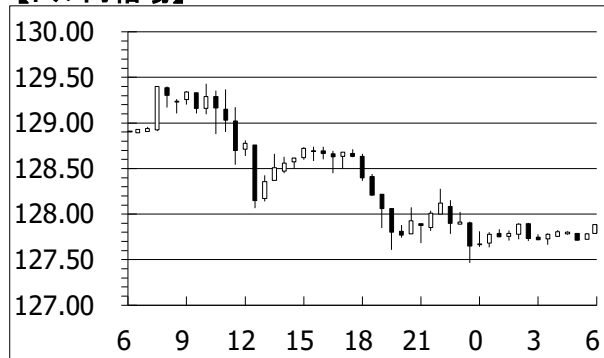
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月20日	08:50	日 貿易収支	3月 -¥412.4b	-¥71.5b
	15:00	独 PPI(前年比/前月比)	3月 30.9%/4.9%	30%/2.7%
	18:00	欧 鉱工業生産(季調済/前月比)	2月 0.7%	0.7%
	23:00	米 中古住宅販売件数	3月 5.77m	5.77m
4月21日	00:25	米 デーリー・サンフランシスコ連銀総裁 講演	-	「5月に0.5ポイント利上げは、実に確実」
	00:30	米 エバンス・シカゴ連銀総裁 講演	-	「インフレは高すぎ、それは考慮されるべき」
	03:00	米 ベージュブック	-	「経済活動は緩やかなペースで拡大」

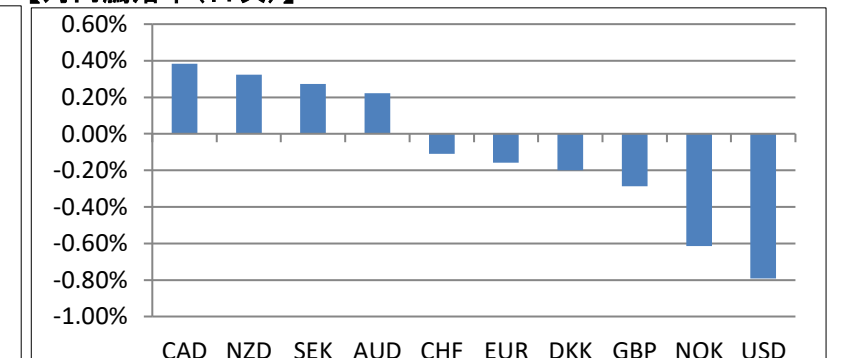
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
4月21日	18:00	欧 CPI(前年比/前月比)・確報	3月 7.5%/2.5%	7.5%/2.5%
	18:00	欧 コアCPI・確報	3月 3.0%	3.0%
	21:30	米 フィアデルフィア連銀景況	4月 21.4	27.4
	21:30	米 新規失業保険申請件数	16-Apr 180k	185k
4月22日	02:00	米 パウエルFRB議長 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	126.50-129.00	1.080-1.0950	137.00-140.00

【マーケット・インプレッション】

東京時間のドル円は129.33レベルでオープン。5・10日に伴う実需のドル買いのフローや指値オペ発動期待もあり、仲値に1日高値の129.43を付ける。しかし、指値オペ公表後は利益確定の売りが見られ、128円台前半レベルまで売られると、その後は半値戻し海外時間に渡った。海外時間に入ると、3%を目前としていた米金利が大幅に低下したことを背景としたドル売りからドル円は127.50割れの水準まで下落。その後は小反発すると127.89レベルでクローズした。本日のドル円は引き続き、上値重い展開を予想する。昨日は129.43を付けたものの、節目である130円が遠く、その後利益確定フローが入った。3月末に125円を付けた際も、その後調整が入っており、同ような動きとなる可能性が高く、今回も一旦の調整が入ると予想する。本日はG20の後、イエレン米財務長官と鈴木財務相の会談が予定されており、両首脳から行き過ぎた円安について発言があれば、円高圧力がかかるだろう。加えて、IMFセミナーにてパウエルFRB議長やECBラガルド総裁の発言を控えている。特にパウエルFRB議長はFOMC前に最後の発言の場となる為、留意したい。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 松木・西